



研究主題 「質の高い幼児教育の実現に向けて」(札幌市立幼稚園共通)

～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～

副主題 『幼保小連携・接続のよりよい推進のために』(北区・東区共通)

重 点 『子どもの学びをつなげる』(北区・東区共通)

北区の白楊幼稚園と東区のひがしなえぼ幼稚園では上記の共通の研究副主題、重点で、①幼児の育ちを支える ②教師同士の連携 ③児童と幼児の交流の3つの方法で 3 年間研究を進めてきました。最終号は両区の実践のまとめについてお知らせします。

白楊幼稚園の研究



①幼児の育ちを支える

<目指す幼児像に向かうための大切な教師の援助>

5歳児 友達と粘り強く遊びを進める幼児
4歳児 やりたいを実現し、友達と楽しめる幼児
3歳児 心を動かし、繰り返し楽しむ幼児

登り棒を設置すると…

「桑の実を取るぞ!」と
粘り強く取り組む 5 歳児

☆(見て、感じて)やってみたいが生まれる環境(人的、物的、自然・社会)作り
☆子どもの「やりたい!」を大切にし、寄り添う
☆「やってみよう!」の先の「もう少し続けてみよう」につながる支え

独楽回し名人のショーを見て…

やってみたい!もう少し続けてみよう!と友達と楽しむ 4 歳児



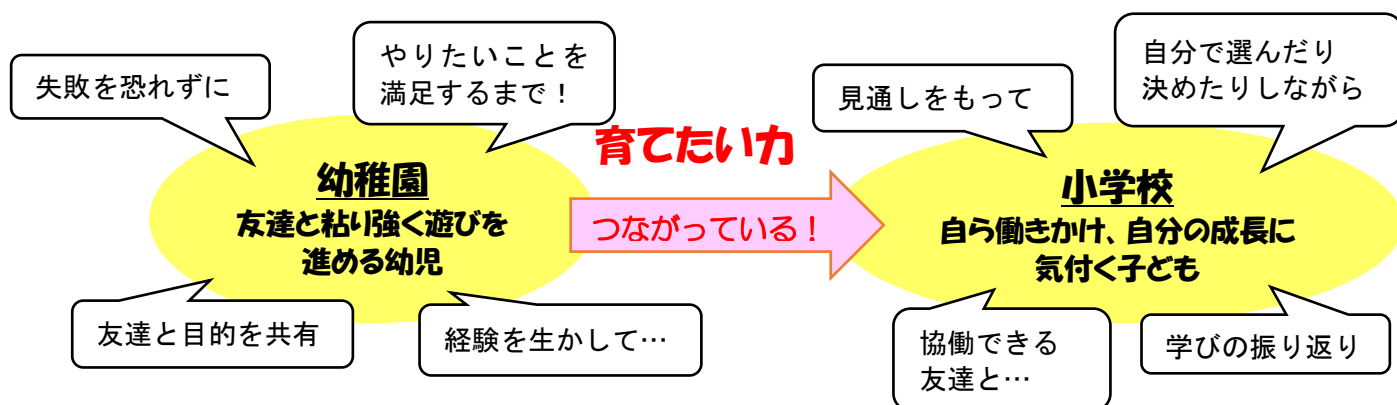
年長児のアイドルショーを見て心を動かし…

すぐに実現し、繰り返す 3 歳児



<幼児教育と小学校以降の教育の学びのつながり>

白楊幼稚園と白楊小学校の育てたい子どもの姿



②教師同士の連携

<成果>

- ・幼小の教諭の合同研修の際に、幼児の事例を用いて学びのつながりについて話し合いをしたり、研究授業・保育参観・授業参観後にメール等で意見交流をしたりするなど相互理解に努めてきた。幼児期と小学校以降の教育の共通点と相違点を理解したうえで、子どもの発達や学びは連続していることを確認し合えた。
- ・地域の保育所も一緒に小学校と交流できるよう、幼児教育施設の繋ぎ手となることで地域の連携が深まり、小学校への接続について幼保小で意見交流できた。
- ・幼稚園と保育所の経験や育ちに対する願いの違い、共通点を共有し、互いに刺激を受け合い保育にフィードバックできた。
- ・取組を発信してきたことで区内の他の地域でも連携が進み始めた。

<今後に向けて>

- ・幼保小それぞれの事情を踏まえたうえで、根付いたものを絶やさず継続する。
- ・引き続き、子どもたちの育ちを支えるためには幼保小の縦のつながり、幼児教育施設の横のつながりが大切であることを伝える。



年長児のエピソードを用いて
遊びの中の学びを読み取る



交流の前後には幼保小の教師、保育者が顔を合わせて打合せ、振り返り

③児童と幼児の交流

<成果>

- ・小学生に対する親しみや憧れの気持ちが増し、就学への安心感や期待につながった。
- ・実際に触れ合うことでたくさんの刺激を受けたり、共通の経験となったりした。交流で体験したことを再現するなど遊びに生かす姿につながり、遊びの幅が広がった。
- ・初対面の人とでも自信をもって関われるようになった。

<今後に向けて>

- ・無理なく持続可能な交流を行う。
- ・地域の幼児が入学前に同じ経験をしてきたことでの成果について小学校と確認したい。そこから交流内容をブラッシュアップできると、交流の質が変わるのではないか。

小学校のおもちゃランドに参加して…

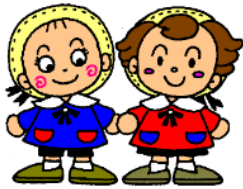


自分たちの遊びにすぐ生かす



学校見学





ひがしなえぼ幼稚園の研究

①幼児の育ちを支える

<幼児と児童が交流することでの幼児の育ち>

- ・小学生の姿に憧れをもち、目指す姿や遊びへの意欲、見通しをもつようになった。
- ・同じときに同じ姿を見たり一緒に遊んだりしたことで、友達と目的やイメージを共有しやすくなり、目的に向かい協力して遊びを進めようとするようになった。
- ・実際に小学生の姿を見ることで様々なことに気付き、自分の姿や友達との遊びに取り入れたり、表現したりするようになった。



など

②教師同士の連携

<合同研修から確認できたこと>

- ・幼児は実体験をもとに、意欲や人との関り、粘り強さ、相手への意識などの力を付けている。
- ・「自分が」から「みんなで」といった他者意識を幼児期から育てることが大切である。
- ・失敗経験が少ない。失敗から徐々に成功に向かって、努力したり、友達と協力したりする経験が大切である。
- ・幼児教育では、「三つの資質・能力」の「学びに向かう力・人間性等」は基礎ではない。幼児期から育てていくものである。

<幼小で大切にしたい点>

- ・他者意識や粘り強く努力することなど「数値化」できない力を幼児教育で育てている。それを小学校教育につなげることが大切である。



など

③児童と幼児の交流

<エピソードから分かった幼児の育ち>

- ・失敗を糧に自分の願う姿になろうと努力し、やり遂げる。
- ・葛藤し、折り合いを付けながら、遊びをより良くすることを考え、話し合い行動する。
- ・一人ではできなかったことが、友達と協力すると成し得ると気付く。

など

<教師の援助・環境の構成>

- ・幼児と物事との出会い方を大切にする。
- ・形に捉われず、幼児の興味から始め、存分に楽しめるようにする。
- ・自由度の高い、用意しすぎない環境を構成する。
- ・相手の意見を聞くことや自分で考えることができるように適時言葉を掛ける。
- ・幼児が考えて判断する場をつくる。
- ・幼児のアイデアを活かす。
- ・努力する姿を見過さず褒める。
- ・少し前の自分を振り返って、自分の価値を認められるように言葉掛け、支える。
- ・周りの評価を気にせず（没頭できる）存分に取り組める時間や空間、人的環境を保障する。

など





令和7年4月から市立幼稚園は**5園体制**となります



今後も変わらず…

▶**幼児教育の考え方を共有**

→研究実践園である核となる5園と認定こども園にじいろが図の色分けしているペア区へ実践研究で分かったことを発信・共有します。

▶**公開保育を活用した研修**

→幼児教育施設と小学校が共に学べる機会をつくります。(実践発表会 等)

▶**訪問研修**

→核となる5園がペア区の申込や園・校内研修に関わる相談に対応します。

幼児教育センターHP URL

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennkyuu.html>

二次元コード→



YOUNEN

●●研究のまとめパンフレットを作成しました●●

研究実践園が3カ年計画で取り組んできた保育実践研究のまとめの年となりました。この研究に取り組んだ10園の保育実践を紹介するパンフレット『つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～市立幼稚園・認定こども園が取り組んだ5つの保育実践研究～』を作成しました。市内幼児教育施設や小学校に3月末に送付いたします園・校内研修などにご活用いただけると幸いです。

また、実践研究の詳細や成果等は各園のHPで発信していますので、ぜひご覧ください。

【研究副主題テーマ】

豊平区・清田区
多様な教育・保育環境
(長時間保育の実践)

白石区・厚別区
遊びを通じた
幼児期の学び

●研究のまとめパンフレット



北区・東区
幼保小連携・接続

西区・手稲区
特別支援教育

中央区・南区
家庭教育支援